

## 方針2「公共交通の利用促進」実施結果評価

### 5. バス利用ガイド・モビリティマネジメント実施結果

バス利用ガイド・モビリティマネジメントの実施結果について把握するためのアンケート調査票を作成・実施し、アンケート結果の集計・分析を行った。

#### (1) アンケート調査概要

- ・ 実施時期：平成25年12月
- ・ 配布数：1,000票
- ・ 回収数：160票（最大3名まで回答可能で272人が回答）
- ・ 回収率：16.0%

#### (2) アンケート調査結果

##### 問1 性別は

- ・ 「男性」、「女性」の割合は約半々である。

性別	件数	比率
1 男性	130	48%
2 女性	135	49%
999 未回答	7	3%
計	272	100%

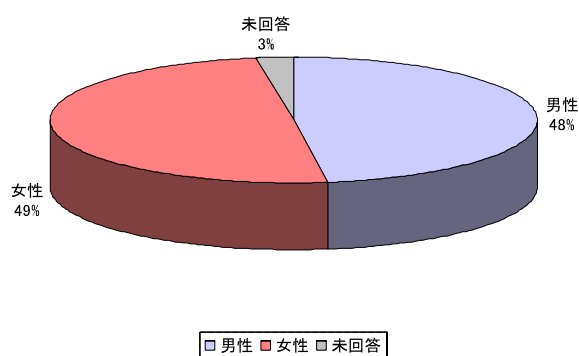


図 5-1 性別

## 問2 年齢は

- ・「30歳代」が42%と一番多く、次いで「40歳代」が24%を占める。

年齢	件数	比率
1 ~10歳代	15	6%
2 20歳代	13	5%
3 30歳代	114	42%
4 40歳代	66	24%
5 50歳代	35	13%
6 60歳代	24	9%
7 70歳以上	5	2%
999 未回答	0	0%
計	272	100%

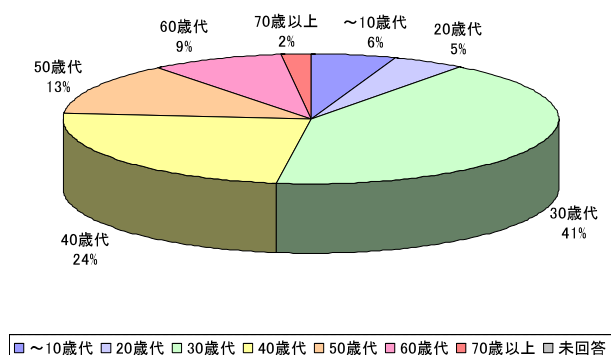


図 5-2 年齢

## 問3 職業は

- ・「会社員」が51%と多く、次いで「主婦」が26%を占める。

年齢	件数	比率
1 会社員	138	51%
2 自営業	8	3%
3 主婦	71	26%
4 学生	16	6%
5 無職	19	7%
6 その他	19	7%
999 未回答	1	0%
計	272	100%

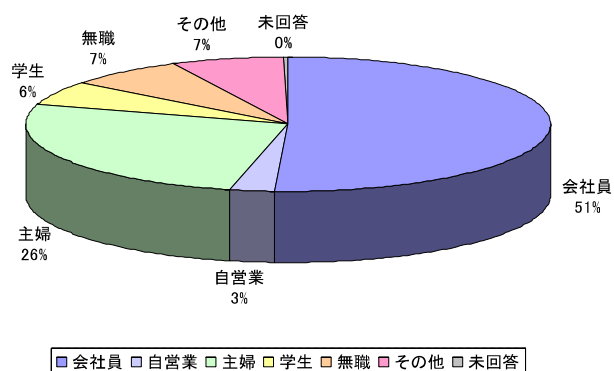


図 5-3 職業

#### 問4 お住まいは

・「習志野台」が6%（17人）と一番多く、次いで「三山」・「高根台」・「薬円台」・「みやぎ台」・「前原東」・「西習志野」の4%である。

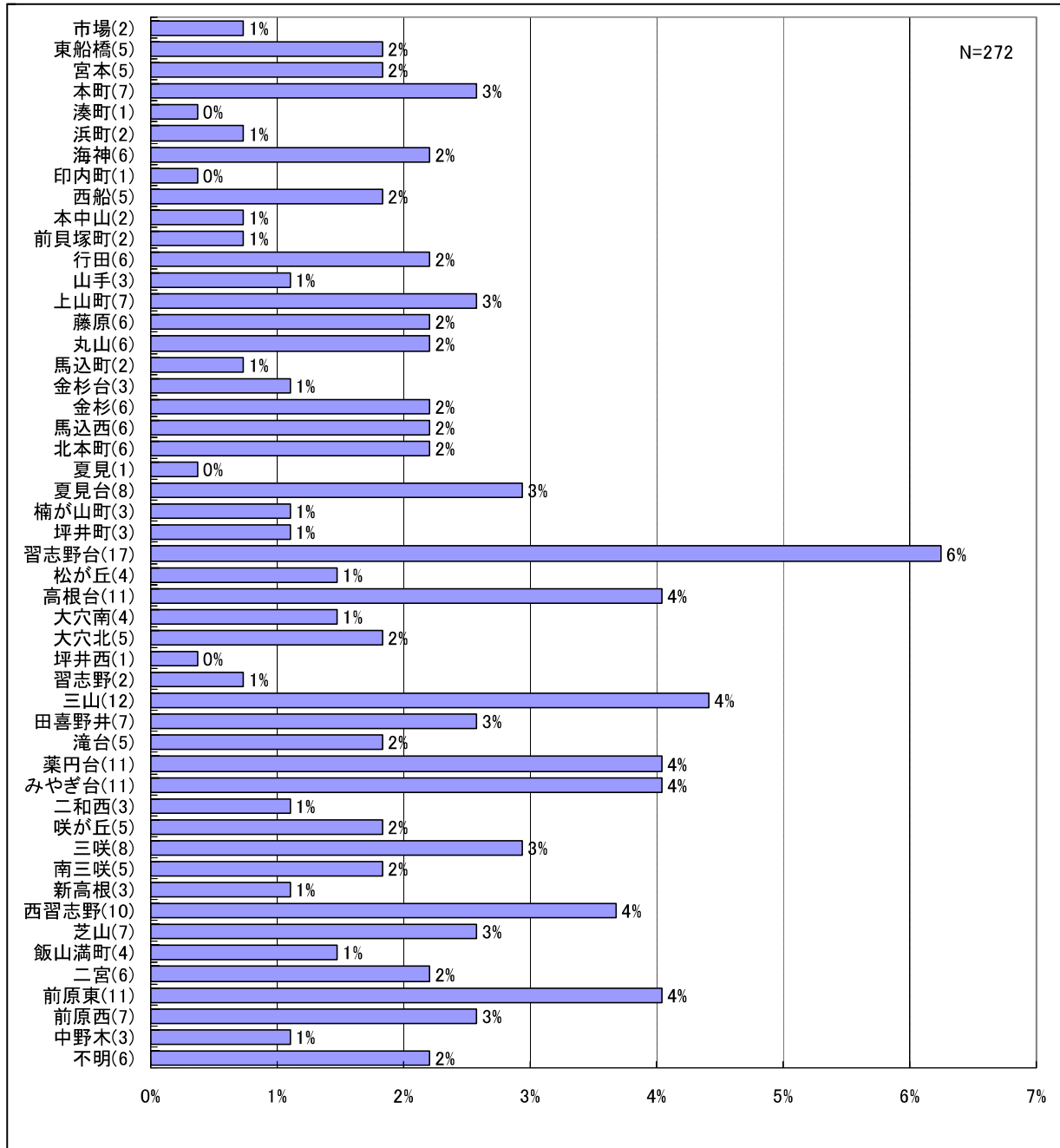


図 5-4 お住まい

問5 日常の主な交通手段は、何ですか。※複数回答可

・「鉄道」が多く56%を占め、次いで「徒歩」42%、「自家用車」40%、「自転車」32%、「バス」25%の順である。

日常の交通手段	件数	比率
1 バス	69	25%
2 徒歩	113	42%
3 自転車	86	32%
4 バイク	11	4%
5 自家用車	108	40%
6 家族の送迎	10	4%
7 タクシー	4	1%
8 鉄道	152	56%
計	553	203%

注) 比率は回答者数272人に対する割合である

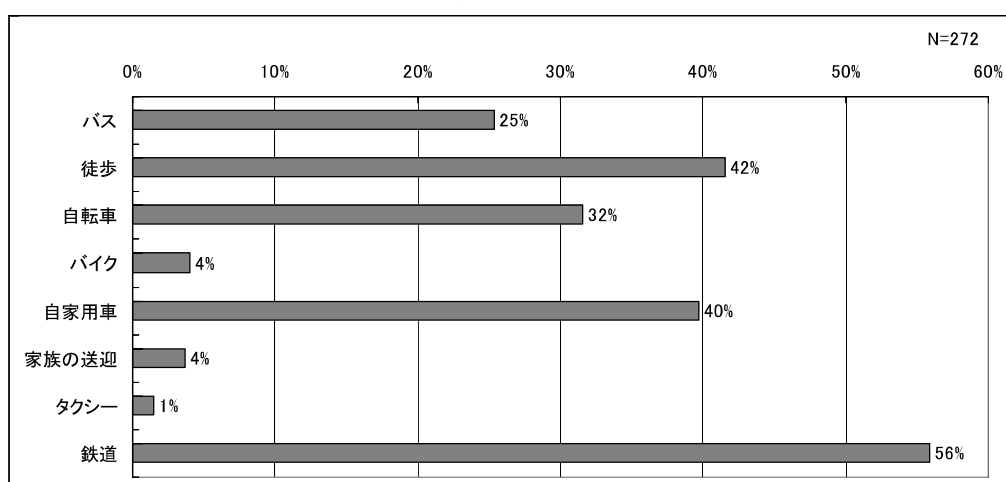


図 5-5 日常的な交通手段

問6 バスガイドマップを利用しましたか。

・「利用した」は24%と非常に少なかった。

バスガイドマップの利用	件数	比率
1 利用した	64	24%
2 利用していない	204	75%
999 未回答	4	1%
計	272	100%

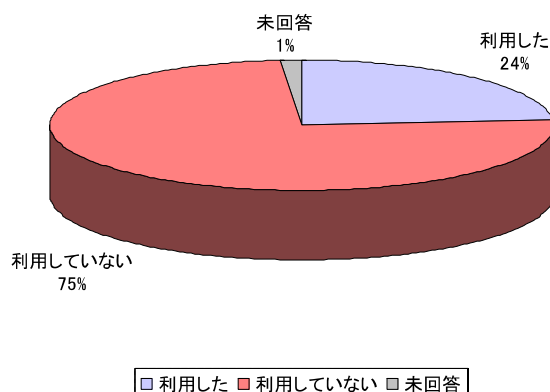


図 5-6 バスガイドマップの利用可否

問7 バスガイドマップはバス利用の参考になりましたか。

・「参考になった」は24%と少なく、「どちらとも言えない」が45%を占める。

バス利用の参考	件数	比率
1 参考になった	64	24%
2 参考にならなかった	35	13%
3 どちらとも言えない	124	45%
999 未回答	49	18%
計	272	100%

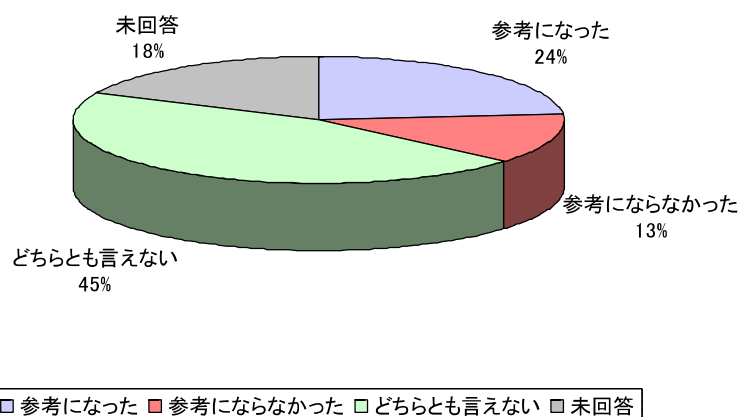


図 5-7 バスガイドマップが参考になったか

問8 バスガイドマップは、分かりやすいですか。

・「わかりやすい」は23%と少なく、「どちらとも言えない」が50%を占める。

バスガイドマップの分かりやすさ	件数	比率
1 わかりやすい	62	23%
2 わかりにくい	26	9%
3 どちらとも言えない	136	50%
999 未回答	48	18%
計	272	100%

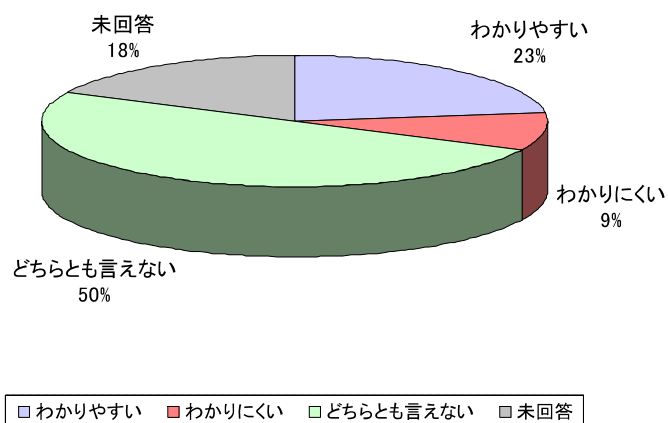


図 5-8 バスガイドマップの分かりやすさ

問9 バスガイドマップの掲載内容で、役に立った情報は何か。 ※3 つまで

・「バスガイドマップ」情報が役に立ったが 37%を占め、次いで「主要施設一覧」が 19%である。

役に立った情報	件数	比率
1 バスガイドマップ	82	37%
2 バス事業者の案内	5	2%
3 船橋市の紹介	29	13%
4 主要施設一覧	43	19%
5 バスの利用方法	26	12%
6 運賃の年齢区分と扱い方	6	3%
7 バスロケーションシステム	1	0%
8 バス利用特典サービス	7	3%
9 船橋市のおすすめスポット案内	20	9%
10 わからない	114	52%
計	333	151%

注) 比率は未回答者を除く221人に対する割合である

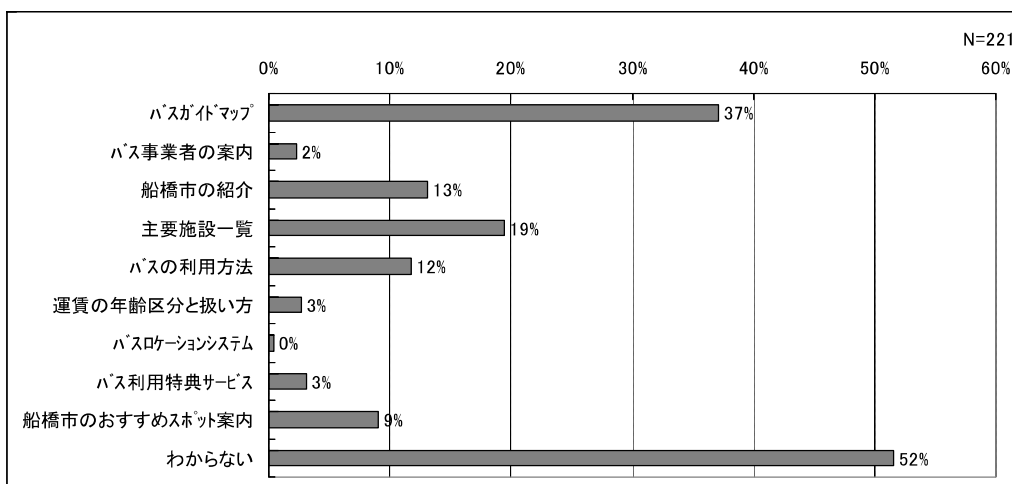


図 5-9 バスガイドマップの掲載内容 (役に立った情報)

問10 バスガイドマップを今後、利用しますか。

・「利用する」が 28%と少なく、「どちらとも言えない」が 42%を占める。

今後の利用	件数	比率
1 利用する	75	28%
2 利用しない	55	20%
3 どちらとも言えない	116	42%
999 未回答	26	10%
計	272	100%

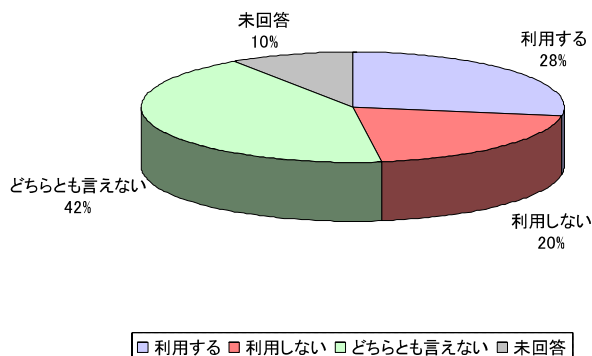
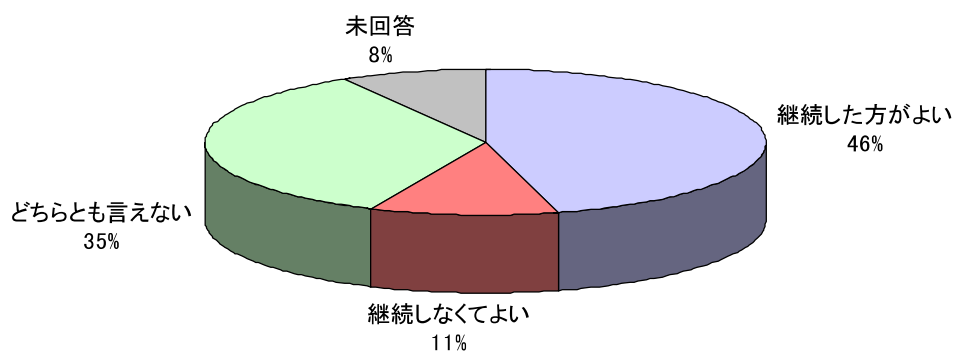


図 5-10 今後の利用意向

問 11 転入者の方へのバスガイドマップ配布は、継続した方がよいでしょうか。

・「継続した方がよい」が 46%を占め、「どちらとも言えない」が 35%を占める。

今後の利用	件数	比率
1 継続した方がよい	125	46%
2 継続しなくてよい	29	11%
3 どちらとも言えない	95	35%
999 未回答	23	8%
計	272	100%



□ 継続した方がよい □ 継続しなくてよい □ どちらとも言えない □ 未回答

図 5-11 バスガイドマップ事業の継続性

---

### (3) 結果・分析

- ・回収率は16%と低いもの最大3名まで回答可能な調査票により272人が回答（1.7人/票）。
- ・バスガイドマップを利用しましたかについては、「利用していない」が75%と利用は低かった。
- ・バスガイドマップは、バス利用の参考になったかについては、「どちらとも言えない」が45%、「参考になった」は、24%であった。
- ・バスガイドマップは、わかりやすかったかについては、「どちらとも言えない」が50%、「参考になった」は、23%であった。
- ・転入者に対しバスガイドマップの配布を継続した方が良いかについては、「継続した方がよい」が46%で「どちらとも言えない」を含むと81%であった。

モビリティ・マネジメントの一環として、バスガイドマップの作成および転入者への配布の事業は実施できた。

しかし、転入者に対するバス利用の促進を目的としたバスマップの配布は、あまりバス利用の促進には、繋がっていないと考えられる。

一方で、事業の取り組み自体については、継続を求める声が多かった。